

【高等学校用】

令和5年度学校評価 計画

学校名	佐賀県立厳木高等学校
-----	------------

1 前年度 評価結果の概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力向上について、漢字能力検定の準2級合格率が前年度より大幅に上昇した。また、大学等進学希望者に対して1人1台の端末の活用や補習等の充実により、第1志望校への合格者数が増加した。英語や数学において、学力の正確な把握のための取組について検討する。</li> <li>・部活動については、特別選抜を活かして入部した専門性の高い部員を中心として活性化に取り組み、大会やコンクール等で入賞、入選者を出した。部活動を通じた体づくりや健康増進に役立てる方法を模索する。</li> <li>・あいさつ運動については、生徒会や部活動を中心に計画的に実施した。また、ボランティア活動については、HRや掲示板等で積極的に希望者を募った結果、地域で活動する生徒も増えつつある。</li> <li>・広報活動については、管理職や教務部による個別中学校訪問や合同学校説明会への参加、体験入学や入試説明会を開催するなどして、学校紹介や入試説明等を行った。</li> </ul>
------------------	--

2 学校教育目標	生徒一人ひとりの個性や特性に応じたカリキュラムや体験活動を通して、地域や社会に貢献できる心豊かな人材を育成する。
----------	--

3 本年度の重点目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒一人ひとりの個性や特性を尊重し、生徒のやる気と主体性を引き出す授業の実践、及び新学習指導要領に対応した授業力向上と学習評価の工夫</li> <li>・多様な個性や特性を認め合い、他者を思いやる心の醸成育成と人権尊重・情報モラル・マナー意識の向上</li> <li>・学校の強みと魅力の発信強化と広報活動の充実</li> </ul>
------------	---

4 重点取組内容・成果指標

(1)共通評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	取組内容	成果指標(数値目標)	
●学力の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒一人ひとりの個性や特性を尊重し、主体的な学びを促し、ほめて伸ばす授業の実践</li> <li>○新学習指導要領に対応した学習評価の工夫</li> <li>◎自らの目標や進路実現に向けた基礎学力の定着・向上とICTの利活用</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業相互参観週間を年間2回設定する(6月・10月)。</li> <li>○学習評価に関する研修を年間1回以上設定する(10月)。</li> <li>○多様な学校設定科目による幅広い進路選択への対応を行う。</li> <li>○SAGAeスタディを活用した生徒を100%にする。</li> <li>○基礎力診断テストの学習到達ゾーン(GTZ)のD3層を各学年70%以下にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の主体的な学びを意識した授業を全教員が行う。また、参観週間等の機会を用いて、他の教員の授業を積極的に参観する。</li> <li>・各教科や「総合的な探究の時間」の評価に関する研修を計画し、実施する。</li> <li>・自らの目標や進路実現にあった科目選択ができるように、各学年・担任等で面談を行う。</li> <li>・授業や自主学習でICTを活用し、個に応じた学習ができるように指導する。</li> <li>・生徒にD3層の意味を理解させ、基礎力診断テストを重要な指標とした基礎学力向上を図る。</li> </ul>
●心の教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身に付ける教育活動</li> <li>●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実</li> <li>○あいさつ運動の推進</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎「他者を思いやることができた」「豊かな心ははぐむことができた」と回答した生徒を80%以上にする。</li> <li>○図書館利用者および図書貸出数を増加する(前年度比10%増)。</li> <li>○いじめ防止等について「組織的対応ができてい」と回答した教員を90%以上にする。</li> <li>○「性の多様性」に着目し、教職員の理解を促進するための研修会を1回以上開催する。</li> <li>○あいさつを通して、互いを尊重し、良い関係性を確立できるよう、あいさつ運動を継続する。</li> <li>○「あいさつを積極的にしている」と感じる生徒の数を70%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事や「総合的な探究の時間」において協働的な学びの場面を多く設定する。</li> <li>・人権教育、情報モラルに関する授業を実施する。</li> <li>・図書館だよりを毎月発行し、図書館レイアウトを工夫する。</li> <li>・いじめの対応についての研修・会議を年間2回以上実施する。</li> <li>・人権・同和教育担当者と連携し、「性の多様性」について、成人の当事者やスクールカウンセラーによる講話等を実施する。</li> <li>・登下校時や集会時、授業開始・終了時のあいさつを徹底する。</li> <li>・生徒会役員によるあいさつ運動を週1回実施する。</li> </ul>
●健康・体づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>●望ましい生活習慣の形成</li> <li>○部活動の活性化</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○規則正しい生活リズムを確立させ、朝食摂取率を70%以上にする。</li> <li>○歯垢要治療者、歯肉要治療者を20%未満にする。</li> <li>○歯科受診率を30%以上にする。</li> <li>○部活動参加率65%以上にする。</li> <li>○部室や活動場所の整理整頓と施設の徹底に関する注意喚起を年4回以上行う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・朝食アンケートを行い、生活習慣、食生活について振り返り、考えさせる。</li> <li>・個別に歯科受診指導を行う。</li> <li>・学校歯科医と連携し、ブラッシング指導を行う。</li> <li>・4月に体験入部を2日間設定し、新入生全員参加を促す。</li> <li>・部活動ごとに練習計画表を発行する。</li> </ul>
●業務改善・教職員の働き方改革の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●教育委員会規則に掲げる時間外在校等時間の上限を遵守する。</li> <li>○年次休暇を年間14日以上取得する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定時退勤日の設定(月曜日)と掲示や口頭による啓発を行う。</li> <li>・学校行事・学校運営の精選や見直しによる業務効率化を図る。</li> <li>・夏季休業中に学校閉庁日(8月8日～15日)を設定し、教職員が休暇を取得しやすい環境を整備する。</li> <li>・部活動休業日の設定と、部活動の活動方針に基づいた活動を徹底し、複数顧問のシフト制を推進する。</li> </ul>

(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
評価項目	重点取組		具体的取組
	重点取組内容	成果指標(数値目標)	
★唯一無二の誇り高き学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>★通級による指導の充実及び教職員の専門性の向上による教育相談・生徒支援体制の充実</li> <li>○出席率の向上</li> <li>★学校の強みと魅力の発信強化と広報活動の充実</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>★特別支援教育や不登校生徒の支援に関する研修会を年2回以上開催する。</li> <li>○例年、欠席率の高い1年生を対象として、学校生活への適応を促し、生徒の出席率を95%以上にする。</li> <li>★学校説明・学校PRの機会を年間30回以上実施する。</li> <li>★学校HPの更新を月に4回以上行う。</li> <li>★自分の学校を中学生に勧めることができる生徒の割合78%以上、教職員の割合85%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学院研修派遣の教員と連携し、教職員の専門性向上に努める。</li> <li>・1年生を対象に「学校生活適応感」を質問紙によって測ることで、支援を要する生徒を抽出し、具体的な支援を検討する機会を設ける(前期・後期に各1回)。</li> <li>・SAGAハイスクールプロモーション事業、体験入学、中学校訪問、各種学校説明会等による広報活動を積極的に行う。</li> <li>・各分掌や学年に呼びかけて、HP掲載情報を収集し、活用する。</li> <li>・全校集会や学校だより、校内の掲示板等を活用して、生徒及び教職員にも学校の魅力を発信する。</li> </ul>
○地域との関わり・地域貢献活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ボランティア活動</li> <li>○地域行事への参加等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○JR厳木駅や通学路の清掃活動を週2回実施する。</li> <li>○地域の方と一緒に活動した生徒の割合を70%以上にする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会および部活動の輪番制で実施する。</li> <li>・地域やNPO法人等、外部との連携を図る。</li> </ul>

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志を高める教育 ★…唯一無二の誇り高き学校づくり

5 総合評価・次年度への展望	<ul style="list-style-type: none"> <li>・</li> <li>・</li> <li>・</li> </ul>
----------------	---